

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2007～2008 年度 RI のテーマ
ROTARY SHARES

会長 下津谷忠男 幹事 田中昌夫



第1888回例会 (2007年8月28日)

点鐘 下津谷会長
ロータリーソング 手に手つないで
お客様

オーストラリアのバッセルトンに行った中学生と先生方がお礼の挨拶に見えました。生徒15名と引率者2名の総勢17名で行ってきたそうです。子供たちもいろいろな経験が出来て、とても楽しかったそうです。本来ならば全員で挨拶に来たかったのですが、部活の大会で来られない子供たちもいるとのことでした。



会長挨拶 下津谷会長

今バッセルトンに行った中学生と先生方の挨拶がありましたが、若い方々に少しでも海外での生活を経験して頂く事はとても大事なことだと思います。きっとこれからの人生に良い影響を与えることでしょう。

さて私の話ですが今日は宋文州著の「傍目八目」おかめはちもくについて抜粋してお話をし

ます。



「中国は北朝鮮の味方なのか？」

「日本では、中国政府は北朝鮮を擁護しているように見えるでしょう。僕からみれば、相互不信の中で妥協的連携をしているのに過ぎません。僕は幼い頃、北朝鮮との国境に5年間ほど住んでいました。川を挟んで中国と北朝鮮が分かれる場所でした。川が国境なので、川が凍りつく冬には中国からも北朝鮮からも気楽に国境を越えることが出来ました。今は脱北者の問題がかまびすしいご時世ですが、あの頃は、北朝鮮から中国に逃げて来る様な事はありませんでした。中国では文化大革命の嵐が吹き荒れ、生産活動が停止し、市民生活は北朝鮮よりずっと苦しかったからです。

それは1970年前後のことだったと思います。中国の軍隊がそれまで平穏に暮らしていた我が故郷に突然やってきて国境の警備を始めました。不穏な空気が次第に広がってきましたが、当時は北朝鮮が中国に限らず周辺アジア諸国に緊張を与えるような存在になるとは想像もしませんでした。なにしろ、中国と北朝鮮はその十数年

前に共に朝鮮戦争を戦った同盟国であり「血で固まった友情」と中国政府も宣伝していたからです。

今思えば、当時の中国は旧ソ連とイデオロギーの争いが激化し、中ソ国境では戦争状態になりました。毛沢東はソ連による核攻撃に備えるために全国民に防空壕を掘るように命令したほどでした。ソ連との緊張関係の高まった時期に、毛沢東は北朝鮮の金日成主席を信用していなかったはずですが、いくら「血で固まった友情」と表で言っても中国とソ連と戦争になれば、金主席は貧乏な中国ではなく、沢山支援をくれるソ連につくはずですが。

一方、金主席も毛沢東を信用しなかったと思います。そしてある意味では、金主席が正しかったのです。その後、毛沢東は北朝鮮の敵対国である米国のリチャード・ニクソン大統領と、そして日本の田中角栄首相と会うなど、次々と「裏切り行為」に出たのです。その最後で最大の裏切りは、1992年の韓国との国交樹立でした。中国は正式に北朝鮮による朝鮮半島の武力統一を否定したのです。中韓が国交を持つまでは、中国のメディアは北朝鮮を「血で固まった友情の朝鮮」、韓国を「米国の傀儡の南朝鮮」と宣伝していたのですから、中国と韓国の国交樹立のニュースには、日本にいた僕もびっくりしました。このように、北朝鮮の立場から見れば、昔から中国のことは信じられないのです。最近ようやく日本のニュースにも流れた「中国は信用できない」との金日成総書記の発言は、多くの日本人にとっては新鮮かもしれません。しかし、北朝鮮指導部内では、数十年前からそんな言葉を交わしていたのだと想像できます。

互いが不信を感じずる関係ながらも、中国は北朝鮮を擁護してきました。その唯一の理由は対米戦略だと思えます。北朝鮮が崩壊すれば米軍が中朝国境にやってくるからです。幼い頃に僕が見た対岸の北朝鮮の風景に、米兵の姿が加わるわけです。中国政府としては決して見たくない光景です。しかし、米兵が駐留する風景よりも中国としてもっと見たくない風景があります。それはキノコ雲が立ち上る風景です。今回の実

験場所は、中朝国境からわずかな距離の場所とされています。海を隔てて遠く離れた日本よりも中国の方が何倍も危険です。

独裁者に核兵器。実験当日の中国の公式コメントは「カンゼン」という言葉を使って非難しました。これは重大な国家利益や尊厳が侵害された時に使う言葉です。「同盟国」に対してこの言葉を使うのは、皮肉以外の何者でもありません。靖国問題で日中関係が最悪になった時も、中国政府の公式コメントはせいぜい「中国人民の感情が傷つく」くらいでした。北朝鮮問題が緊迫した今こそ、日中はお互いの「心の問題」で口喧嘩をやめ、真剣に共通の戦略利益を追求すべきだと願うばかりです。」

幹事報告

田中幹事

- ① ロータリー財団地区補助金申請状況についてがきております。
- ② 埼玉県防犯推進室より「防犯のまちづくり出前講座」の活用についての依頼がきております。

セミナー報告



奉仕プロジェクト委員会

仁部会員

奉仕プロジェクト部門セミナーが8月24日(金)にラフォーレ清水園にて開催され、行って来ました。基調講演として熊本城稲荷神社宮司の本田光廣様が「まことの奉仕」という演題で行いましたので、少し内容を紹介します。「15年前にベトナムの人に学校に行けない子にチャンスを与えて欲しいと言われ、学校を1200万円で作りました。トイレが無いので60万円で作りました。制服はレンタル、先生の給料は1日1ドルです。奉仕はしてあげているのではなく、一緒に楽しむ事だと思えます。本当

の奉仕というのは、自己満足では無く、心を形に表すことが本当の奉仕だと思います。また、ローターアクトで話したのですが、現在戦後60年の日本では、地位、身分が高い人ほど、身勝手な行動や言い訳をしていると思います。今の日本人は人に迷惑をかけても謝ることをせず、自己中心的な考え方になっています。

ポリオについても未来を担う子供たちの命の為にRCが出来ることを本気で考え実行することがRCの存在価値だと思います。RCは現在奉仕活動が見えなくなっています。生きるテーマが人として大切だと思います。言動一致が大切です。」との事です。

職業奉仕委員会では「ロータリーの職業倫理訓」を紹介しています。今では手続要覧にも載っていないので我々の目に触れることはありませんが、いろんな試行錯誤のすえ、たどり着いた金字塔で、職業奉仕についてこれほど明快にその理念を明らかにしたものは無いと言うことです。また、分科会の健康保持増進委員会では後日、健康に関するアンケートを実施する予定だそうですので、ご協力をお願いします。

社会奉仕委員会では次の点について説明がありました。

- ① 腎・アイバンクについて
- ② 水問題について
- ③ 地区補助金について

腎・アイバンクについては是非登録をして下さいとのことです。

水問題については、水辺の里親の登録をして下さいとのこと。内容は清掃活動です。地域連携で河川環境の維持・保全に協力するという事です。

地区補助金については、22日に全クラブに配信しましたが、出された申請書は全て不承認です。財団資料のP6, 7をよく読んでから申請して下さいとのこと。

- ・ 継続事業は不可です。
- ・ 効果的なクラブは会員基盤・奉仕内容がしっかりしています。

その他、ブライダルについては前年度のお見合い会のビデオの上映がありました。

出席報告

仁部会員

出席免除 2名 休会 1名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
8/28	25	13	11	5	72%

スマイル報告

仁部会員

下津谷会長→今朝、孫と女房を成田へ送って来ました。3週間余り孫と交流しましたが楽しいものでした。

田中幹事→先日はセミナー出席ご苦労様でした。

新井会員→暑い中、地方選挙も終わりました。しかし、気候はまだまだ暑さが続いています。健康に注意して下さい。

大作会員→中学生の皆さん、バッセルトンでのお勉強ご苦労様でした。今やオーストラリアは資源国、何かと日本とは絆の強い国であり、民主主義の国で安心ですね。

渡辺良一会員→今でも泥舟に乗る人がいるものですね。カチカチ山の話を知らないのですかね！

武井会員→町議選も終わり、これから杉戸町はどうなりますかね。良い方に向かえば良いですが？

中島会員→杉戸町の中学生の皆さん、バッセルトンとの交流における研修ご苦労様でした。

篠原会員→バッセルトンに行った中学生を見ると、さらに何か手助け出来ないかなという気持ちになりますね。

黒岩会員→中学生の皆さん良い体験をされたことでしょう！

以下同文→関口会員、仁部会員、本多会員、細井会員、

本日投入額	16,000円
累計額	183,000円